

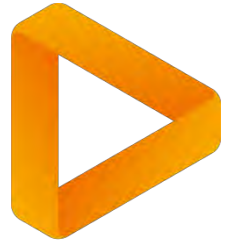
# 老施協

## JS-Weekly

# No.821

発行 令和4年3月11日

編集 公益社団法人  
全国老人福祉施設  
協議会



老施協  
VISION 2035



首相官邸HPより



### 今週のポイント

- ▶ 新型コロナウイルス感染症拡大防止策充実などを訴える
- ▶ 厚生労働省 養護・軽費等職員の処遇改善の実態把握へ 担当課長会議資料で言及

### 国の一週間

国会	1/17~	第208回通常国会
	3/7, 9	厚生労働委員会 (衆議院)
	3/8	厚生労働委員会 (参議院)
	3/7	そのだ修光常任理事代表質問(参議院予算委員会) ▶ P.2
(内閣)	3/8	第4回新しい資本主義実現会議
	3/7	令和3年度全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議資料 ▶ P.5
厚生労働省	3/7	第24回社会保障審議会介護給付費分科会介護報酬改定検証・研究委員会 (オンライン) ▶ P.4
	3/9	第2回在宅医療及び医療・介護連携に関するワーキンググループ (オンライン)
	3/11	第125回社会保障審議会障害者部会 (オンライン)

### 老施協の一週間

全国老施協	3/7	WEB開催	第8回ロボット・ICT推進委員会
	3/8	WEB開催	養護老人ホームブロック代表者会議
	3/8	WEB開催	第7回デイサービスセンター部会
	3/9	WEB開催	令和3年度「都道府県指定都市老施協会長会議」(近畿)
	3/9	WEB開催	第6回広報委員会
	3/10	WEB開催	養護老人ホーム取組結果報告会
	3/10	WEB開催	第3回特別養護老人ホーム部会五役会議
3/11	WEB開催	第7回総務・組織委員会	

### 今週のトピックス

- そのだ修光常任理事が国会で代表質問 ▶ P.2
- 令和3年度養護老人ホームブロック代表者会議が開催される ▶ P.3
- 厚生労働省、LIFEや文書負担などに関する効果・課題を検証結果概要を公表 ▶ P.4
- 厚生労働省が高齢者・介護保険施策の方向性や課題を説明 ▶ P.5
- 厚労省が担当課長会議で令和2年度 指定取り消し・停止処分109事業所を公表 ▶ P.6
- WAMが人材確保について、3,679の社福を調査 55.1%の施設が「職員が不足」と回答 ▶ P.7
- 産経新聞社が介護DXに関するイベントを配信 ▶ P.8
- 【コラム】認知症BPSDケアプログラムにおける取り組み実践事例⑦ ▶ P.9



ご意見・ご要望は  
コチラまで



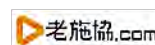
公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

TEL 03-5211-7700 FAX 03-5211-7705

Mail js.jimukyoku@roushikyo.or.jp

URL https://www.roushikyo.or.jp

Twitter, Facebook, Instagram, LINEでも情報発信中!





特養

養護

軽費・ケアハウス

デイサービス

在宅・地域密着  
その他

グループホーム

国会参

## そのだ修光常任理事が国会で代表質問 参議院予算委員会代表質問

### ポイント

- ① 岸田首相が介護現場の尽力に改めて敬意と感謝を表す
- ② 3回目のワクチン接種の重要性を強調

#### ▶ コロナ禍における介護現場の献身的な努力を伝える

3月7日の参議院予算委員会で、自由民主党の参議院議員であるそのだ修光常任理事が代表質問に立った。

まず、今年度予算で看護、介護、保育などの職員の収入の引き上げを行うことについて謝意を示したうえで、「今回、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウスについても地方交付税で対応するという通知を出していただいたが、（これらの措置費は）一般財源化されており、自治体の裁量に任されている。本当に付けてくれるかチェックする必要があるかと思う」と指摘。後藤茂之厚生労働大臣は「都道府県等の取り組み状況の調査を行うなど厚生労働省としてしっかり対応していく」と答えた。

次に、新型コロナウイルス感染症に関して、「介護、高齢者施設、障害の現場では死亡や重症化のリスクの高い高齢者の命や生活を医療の専門家でない人たちが力を尽くして守っている」と訴え、メッセージを求められた岸田文雄首相は「利用者のために強い使命感を持ってご尽力いただいております、改めて心から敬意を表し感謝を申し上げます。引き続き介護、障害福祉の現場をしっかりと国としても支えてまいりたい」と決意を述べた。

#### ▶ 施設内療養への支援 「まん延防止等重点措置の適用地域に限定は不公平」

そのほかにも、そのだ常任理事は、感染者が療養を続けている介護施設に対するかかり増し経費補助など一部の支援策が、まん延防止等重点措置の適用地域だけに限定されていることを問題視し、「クラスターは全国で起きている。不公平ではないか」と、公平な措置を求めた。

また、オミクロン株により施設でのクラスター発生が相次いでいることに危機感を示し、3回目のワクチン追加接種の重要性を指摘した。後藤大臣は「1日も早く、できるだけ多くの方に接種いただけるよう全力で取り組んでまいりたい。政府としても高齢者施設は医療機関と並んで優先的に前倒し接種を進めるということで、（昨年）12月に開始した。迅速に接種が進むよう、関係者の皆さんと連携を図りながらしっかり進める」と応じた。

さらに、「介護の現場で働いている人たちには若い母親が多い。子どもが通う幼稚園、保育園、小学校で濃厚接触が起きたら職場に行けなくなる。子どもたちと高齢者をしっかり守り抜かなければ、社会経済を回せない」と対応を求めた。

これに対し、岸田首相は「感染防止と社会経済活動の維持の二つのバランスをとっていく。そのために介護の現場、保育所、学校などの施設においてしっかりした対策を講じていくことは大変重要な観点だと思う。ぜひ政府としても続けてこうした対策を充実させていきたい」と答えた。

(参考資料：<https://www.roushikyo.or.jp/index.html?p=we-page-menu-1-2&category=19325&key=21767&type=content&subkey=418764>)



ご意見・ご要望は  
こちらまで



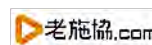
公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

TEL 03-5211-7700 FAX 03-5211-7705

Mail [js.jimukyoku@roushikyo.or.jp](mailto:js.jimukyoku@roushikyo.or.jp)

URL <https://www.roushikyo.or.jp>

Twitter, Facebook, Instagram, LINEでも情報発信中!





特養

養護

軽費・ケアハウス

デイサービス

在宅・地域密着  
その他

グループホーム

全国老施協

## 令和3年度養護老人ホームブロック代表者会議が開催される 令和3年度養護老人ホームブロック代表者会議

### ポイント

- ① 意見交換・課題共有の会議を120人超が傍聴
- ② 厚生労働省に自治体の実態把握等を求める

### ▶ 「地域の人たちとともに、地域を支える核となる施設であり続ける」

全国老施協は3月8日、「令和3年度養護老人ホームブロック代表者会議」をZoom（ウェビナー）によるオンライン形式で開催した。会議には各ブロックの代表者のほか、厚生労働省老健局高齢者支援課の担当者も参加。会員施設から120人を超える関係者の傍聴があり、関心の高さを伺わせた。

開会挨拶で大山知子副会長は、「先日の国会の代表質問で、（そのだ修光常任理事の質問に答えて）後藤茂之厚生労働大臣が養護・軽費・ケアハウスの職員に対する感謝の言葉を述べた。さまざまな生きづらい高齢者を支える養護の役割を国も認め、評価してもらった」と述べ、「私たちは、地域の中で必要不可欠な存在として、地域の人たちとともに、地域を支える核となる施設であり続けなければならない。そのためにも、ブロックの代表者が集まり現状や課題を集約する本日の会議は大切なもの」と強調し、活発な意見交換を促した。

利光弘文養護老人ホーム部会長は、「今回の（養護・軽費・ケアハウスをめぐる）処遇改善に向けた活動において、多くの方に動いていただいた。この流れを途切れないようにしていきたい」と、今後の活動への意気込みを示した。

### ▶ 地域の実情を踏まえた現状・課題を報告

事務局による養護老人ホームに関する各種調査結果の概要や活動の報告に続き、ブロック代表者による現状と課題等の報告が行われた。各代表者は、自ブロックの都道府県・指定都市懇談会で出された意見を整理し、発表した。報告では、いわゆる措置控え、自治体の対応のばらつき、入所者の重度化、施設の老朽化・建て替え、職員確保、処遇改善など、切実な問題提起を訴える声が続いた。

報告後の意見交換・質疑応答では、利光部会長が「（全国老施協が実施しているような）市町村の被措置者数を把握する調査を行っていただけないか」と厚生労働省に要望した。厚生労働省の担当者は、「そうした細かいデータはないが、今後、処遇改善のデータを取り扱うなかで、そうした数値の把握もできると考えている」と答えた。

そのほか、参加者から「処遇改善の相談に行ったところ、措置費の計算式を（都道府県では）理解している担当者がいないことがわかった」という声があった。

ブロックからの報告への感想を求められた厚生労働省の担当者は、「本日は貴重なご意見をいただいた。以前の消費税引き上げ時での対応と異なり、今回の処遇改善をめぐるっては、12月24日の技術的助言だけにととまらず、2月に具体的な引き上げの考え方・改定例を続けて示した。今後、自治体の理解を待っているだけでなく、国として、自治体の対応状況を把握する調査も実施していきたい」と述べた。

最後に榎田和平介護保険事業等経営委員長が、「今回の処遇改善の実現に向けて、みんなが一斉に活動した。山が動きつつあると感じる。これからも、こうした会議で情報交換や連携に努め、新たな課題に向けてみんなが一つになって動けるよう取り組んでいきたい」と述べ、会議は終了した。

（参考資料：<https://www.roushikyo.or.jp/?p=we-page-menu-1-2&category=19325&key=21768&type=contents&subkey=417731>）



ご意見・ご要望は  
コチラまで



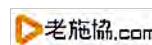
公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

TEL 03-5211-7700 FAX 03-5211-7705

Mail [js.jimukyoku@roushikyo.or.jp](mailto:js.jimukyoku@roushikyo.or.jp)

URL <https://www.roushikyo.or.jp>

Twitter, Facebook, Instagram, LINEでも情報発信中！



厚生労働省 **厚生労働省、LIFEや文書負担などに関する効果・課題を検証結果概要を公表**  
第24回社会保障審議会介護給付費分科会介護報酬改定検証・研究委員会

- ポイント**
- ① 厚生労働省が令和3年度調査の結果概要案を提示
  - ② LIFEやペーパーレス化の課題が示される

▶ 4つの調査項目にかかる効果検証および調査研究を実施

厚生労働省は3月7日、「第24回社会保障審議会介護給付費分科会介護報酬改定検証・研究委員会」をオンラインで開催し、「令和3年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（令和3年度調査）」の結果概要を報告した。同調査では、次の4つの調査項目について効果検証および調査研究を行った。

- ① 介護医療院におけるサービス提供実態等
- ② LIFEを活用した取組状況の把握および訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証
- ③ 文書負担軽減や手続きの効率化による介護現場の業務負担軽減
- ④ 福祉用具貸与価格の適正化

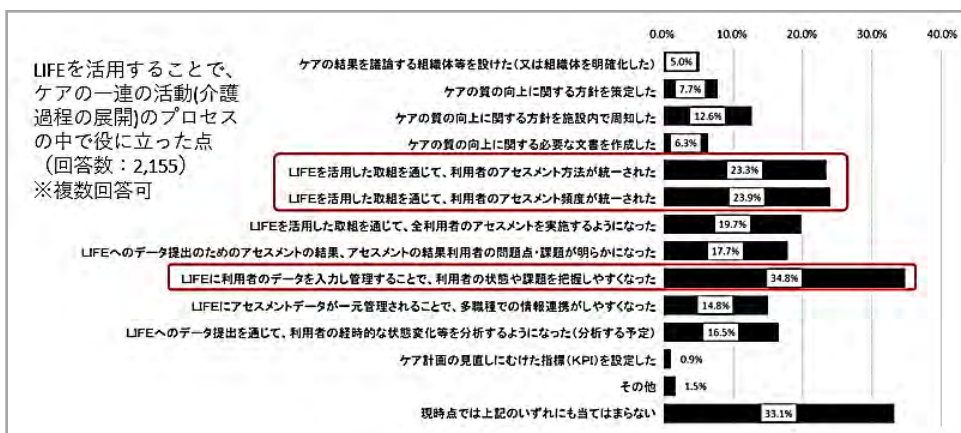
▶ 「パソコンで作成、紙で保存」が5割以上

LIFEの取り組み状況の把握と課題の検討を行った②では、「LIFEが役立った点」として「利用者のデータを入力し管理することで、利用者の状態や課題を把握しやすくなった」が34.8%と最も高く、利用者アセスメントの方法・頻度が「統一された」という回答も比較的多かった。また、導入後の変化として月に1回以上アセスメントを実施する事業所・施設の割合が13.7%から27.2%に増加していた。ヒアリング調査で収集した課題には「入力の簡略化」「活用事例を示してほしい」「どのようにデータを活用すればよいかわからない」などがあつた。

③では、「利用者への説明・同意等」「記録の保存等」「運営規程等における従業員の員数の記載」「運営規程等の重要事項の掲示」に関する見直しの影響を明らかにするとともに、さらなる文書負担軽減や手続きの効率化のための課題等を調査した。それによると、利用者の記録、介護報酬の請求にかかる文書等について「パソコン等で作成し、出力して紙で保存」がいずれの事業所種類でも5割以上。電子的に作成された文書の職員間で共有する方法については、介護老人福祉施設では「システムやネットワークを通じて直接利用」が49.0%などの結果が得られた。

調査結果は後日開催される社会保障審議会介護給付費分科会に報告される。

(参考資料：[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_24120.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24120.html))



出典：厚生労働省



ご意見・ご要望は  
こちらまで



公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

TEL 03-5211-7700 FAX 03-5211-7705  
Mail [js.jimukyoku@roushikyo.or.jp](mailto:js.jimukyoku@roushikyo.or.jp)  
URL <https://www.roushikyo.or.jp>

Twitter, Facebook, Instagram, LINEでも情報発信中!





特養

養護

軽費・ケアハウス

デイサービス

在宅・地域密着  
その他

グループホーム

厚生労働省

## 厚労省が高齢者・介護保険施策の方向性や課題を説明

令和3年度全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議（資料）

### ポイント

- ① 施設整備や介護人材の確保などに824億円を計上
- ② 養護・軽費の職員の処遇改善 自治体に協力を求める

#### ▶ 養護・軽費・ケアハウス職員の処遇改善の実態把握にも言及

令和3年度の全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議は、新型コロナウイルス感染症拡大の防止の観点から集合形式の会議は行わず、3月7日に課題や政策について説明する会議資料が公表された。資料の説明動画についても、準備ができ次第、厚生労働省動画チャンネル（YouTube）にアップされる予定だ。

老健局高齢者支援課の説明資料には、次のような項目が盛り込まれている。なかでも、全国老施協が求めてきた養護老人ホーム・軽費老人ホームの職員の処遇改善の対応を自治体に求め、実態把握にも言及していることは注目に値する。

#### ○ 介護施設等の整備及び運営について

地域医療介護総合確保基金（介護分）令和4年度予算案は、2020年代初頭までの介護の受け皿50万人分の整備に向けた施設整備や多様な人材の参入促進、介護ロボット、ICT等の導入を通じた労働環境の改善等による介護人材の確保を推進するため824億円を計上した。

#### ○ 介護施設等における防災・減災対策の推進について

国土交通省と連携し、高齢者福祉施設における避難の実行性を高める方策を令和3年3月にとりまとめた。また「避難確保計画の作成の手引き」を改定する。

#### ○ 養護老人ホーム・軽費老人ホームについて

養護老人ホーム・軽費老人ホームに勤務する職員について必要な処遇改善を図ることができるよう、各自治体をお願いする。今回の処遇改善に係る改定状況や消費税率の引き上げに係る改定状況などについて実態の把握を行う予定であるので、協力をお願いする。

#### ○ 介護現場（施設系サービス）の生産性の向上について

令和3年度介護報酬改定で見守り機器を導入した場合の夜間における人員配置の緩和など、一部の基準、加算取得要件においてテクノロジー活用を考慮した改定を行った。

#### ○ 高齢者虐待の防止等について

すべての介護サービス事業者を対象に、利用者の人権の擁護、虐待の発生またはその再発を防止するための委員会の開催、指針の整備、研修の実施等が義務づけられたことから、介護サービス事業者への指導、市町村への周知徹底をお願いする。

（参考資料：<https://www.roushikyo.or.jp/?p=we-page-menu-1-2&category=19325&key=21769&type=content&subkey=419212>）



ご意見・ご要望は  
コチラまで



公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

TEL 03-5211-7700 FAX 03-5211-7705

Mail [js.jimukyoku@roushikyo.or.jp](mailto:js.jimukyoku@roushikyo.or.jp)

URL <https://www.roushikyo.or.jp>

Twitter, Facebook, Instagram, LINEでも情報発信中！



厚生労働省

## 厚生労働省が担当課長会議で令和2年度 指定取り消し・停止処分 109事業所を公表

令和3年度全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議（資料）

### ポイント

- ① 法人種別では営利法人が最多で85事業所 社福14事業所
- ② 引き続き、「介護給付費の不正請求」が多い

#### ▶ サービス別では「訪問介護」が最多

厚生労働省は3月7日、令和2（2020）年度に指定取り消し・効力停止処分を受けた介護保険施設・事業所数を公表した。「令和3年度全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議」資料（総務課介護保険指導室）で明らかにしたものの。

資料によると、令和2年度に指定取り消しや効力停止処分を受けた介護保険施設・事業所は109。前年度より44減少した。内訳は、指定取り消しが60、効力の全部停止11、一部停止38。

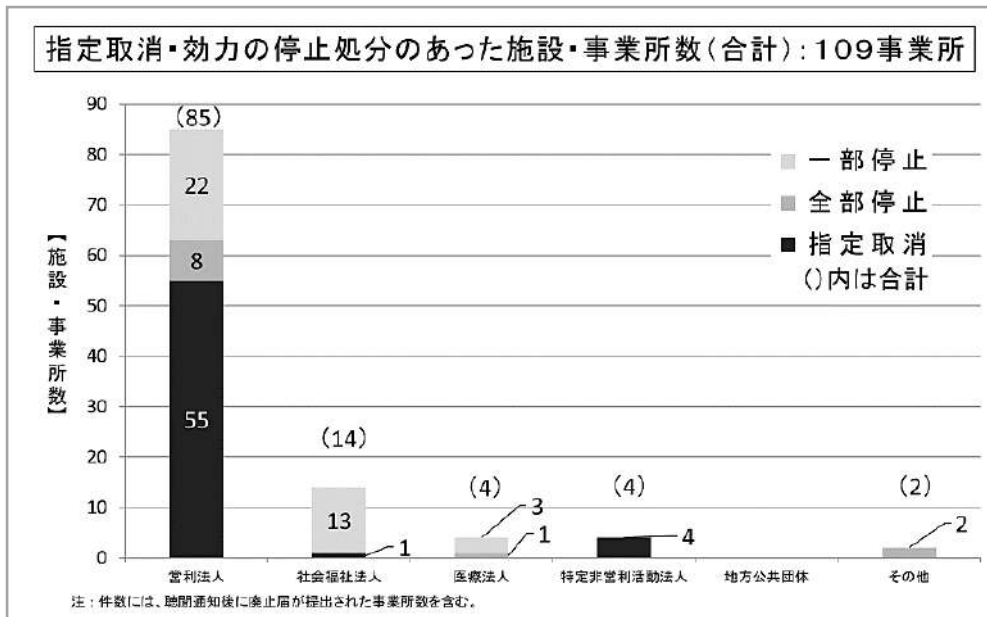
これを法人種別に見ると、営利法人が85（指定取り消し55、全部停止8、一部停止22）で、全体の78%を占めた。社会福祉法人は14（指定取り消し1、一部停止13）。前年度は22だった。サービス別（介護予防サービスを含む）では、訪問介護が26と最も多く、そのほか居宅介護支援12、認知症対応型共同生活介護7などとなっている。

#### ▶ 指定取り消し・効力停止とも「不正請求」が3割弱で最多

指定取り消しの事由を見ると、「不正請求」が27.2%で最多。次いで「法令違反」16.7%、「虚偽報告」が10.5%、「虚偽申請」9.6%など。効力停止についても「不正請求」が29.1%と最も多く、「法令違反」23.3%、「運営基準違反」11.6%などとなっている。

平成21年度以降、指定取り消し・効力停止処分のあった事業者に対する特別検査は、合計490事業者に実施。令和2年度は14事業者に実施しており、そのうち6事業者に改善勧告を行った。

（参考資料：<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000908744.pdf>）



出典：厚生労働省



ご意見・ご要望は  
こちらまで



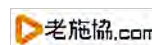
公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

TEL 03-5211-7700 FAX 03-5211-7705

Mail [js.jimukyoku@roushikyo.or.jp](mailto:js.jimukyoku@roushikyo.or.jp)

URL <https://www.roushikyo.or.jp>

Twitter, Facebook, Instagram, LINEでも情報発信中!



福祉医療  
機構

## WAMが人材確保について、3,679の社福を調査 55.1%の施設が「職員が不足」と回答

2021年度（令和3年度）特別養護老人ホームの人材確保に関する調査について

### ポイント

- ① 職員の不足人数は1施設当たり平均3.4人
- ② 紹介手数料の総額は1施設当たり393万9,000円／年

### ▶ 都市部では外国人人材を積極的に雇用

独立行政法人福祉医療機構は3月7日、2021年度の特別養護老人ホームの人材確保に関する調査結果を公表した。同調査は、介護老人福祉施設および地域密着型介護老人福祉施設生活介護を運営する3,679の社会福祉法人を対象に、昨年11月～12月にWebで実施。回答数は993法人（1,035施設）、有効回答率27.0%。

調査によると、職員の充足状況については、55.1%の施設が「不足している」と回答しているが、その割合は前年度に比べて9.0ポイント低下した。コロナにより経済活動が停滞したことによる他産業の有効求人倍率の低下が影響していると見られている。不足していると回答した施設の不足人数は平均3.4人で、前年度調査の3.3人からほぼ横ばいだった。

外国人人材を雇用している施設は44.9%で、一度も雇用したことがない施設は47.2%とほぼ同数だった。地域区分別に見ると、東京23区に設定されている1級地の施設では80.6%が外国人人材を雇用しており、都市部のほうが外国人の雇用割合が高かった。

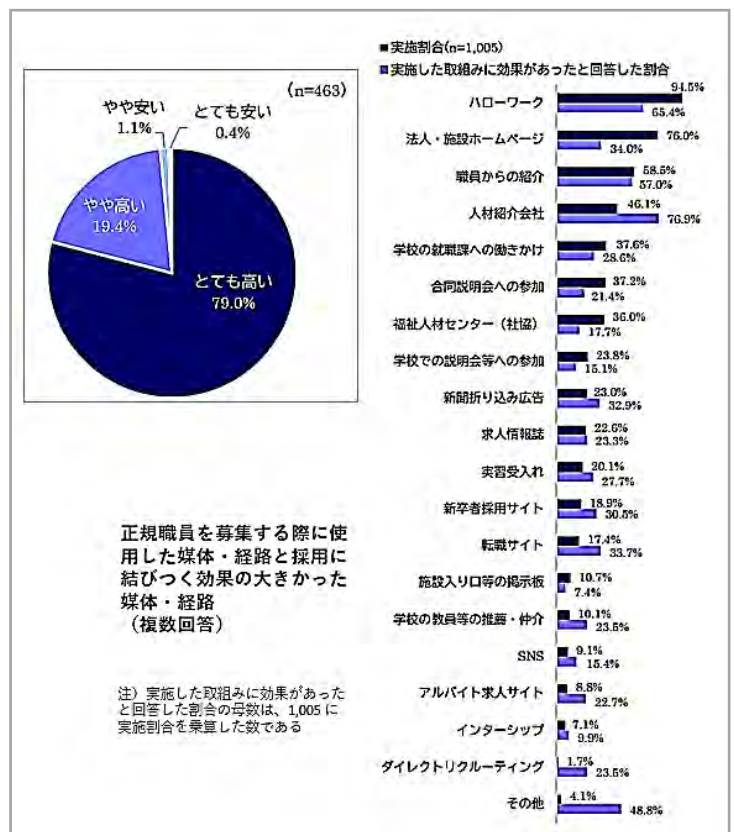
### ▶ 98.5%の施設が「人材紹介会社の手数料が高い」と感じる

採用活動で使用した媒体・経路で採用に結びつく効果が大きかったものとしては、「人材紹介会社」の割合が76.9%と最も高く、次いで「ハローワーク」65.4%、「職員からの紹介」57.0%だった。人材紹介会社に支払う手数料については、98.5%が「高い」と感じていると回答。1年間に人材紹介会社に支払った手数料の総額は、1施設当たり393万9,000円だった。

人材紹介会社を使った満足度と職員の定着率については、「不満足」と回答した施設のうち67.4%が「定着率が低い」と回答。安くない費用のわりに定着率が高くないことが不満につながっているとされる。

（参考資料：[https://www.wam.go.jp/hp/wp-content/uploads/220307\\_No015.pdf](https://www.wam.go.jp/hp/wp-content/uploads/220307_No015.pdf)）

出典：福祉医療機構


 ご意見・ご要望は  
こちらまで

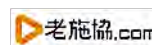

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

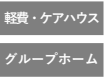
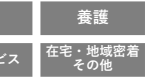
TEL 03-5211-7700 FAX 03-5211-7705

 Mail [js.jimukyoku@roushikyo.or.jp](mailto:js.jimukyoku@roushikyo.or.jp)

 URL <https://www.roushikyo.or.jp>

Twitter, Facebook, Instagram, LINEでも情報発信中！





産経新聞社

## 産経新聞社が介護DXに関するイベントを配信

介護のおしごとのリアル ～介護DXのトップランナーに聞く～

### ポイント

- ① 「介護のしごと魅力発信等事業」の一環として実施
- ② サイトで登録すればオンラインで無料視聴が可能

### ▶ 子育てを終えた人に向けて、介護の仕事の魅力を伝える

産経新聞社は、無料オンラインイベント「介護のおしごとのリアル ～介護DXのトップランナーに聞く～」を配信中だ。同イベントは、令和3年度厚生労働省補助事業「介護のしごと魅力発信等事業」のうちのひとつである「ターゲット別魅力発信等事業（子育てを終えた層向け）」の一環として実施しているもの。

出演は、地域の介護、医療を支える青藍会グループ（山口市）副代表の阿武幸美さんと、司会進行はヤングケアラーとして母親の介護経験を持つフリーアナウンサーの町亞聖さん。最新のデジタル技術であるDX（デジタルトランスフォーメーション）を導入した介護現場の変化や、その仕事の魅力についての情報を発信している。

視聴は無料。配信期間は3月31日（木）まで。

（参考資料：

<https://www.roushikyo.or.jp/?p=we-page-menu-1-2&category=19325&key=21768&type=content&subkey=419019>）



### 無料オンラインイベント 介護DXのトップランナーに聞く

**【イベント概要】**  
 イベント名：介護のおしごとのリアル  
 介護DXのトップランナーに聞く  
 出演：阿武幸美（青藍会グループ副代表）  
 町亞聖（フリーアナウンサー）

配信期間：2月21日（月）12:00～3月31日（木）23:59まで  
 視聴料：無料  
 視聴方法：インターネット配信

※視聴をご希望の方は、お申込みが必要となります。

本サイトよりお申し込みください。  
 お申込みいただいた方に視聴用のURLをメールでお知らせいたします。



司会進行 町亞聖      ゲスト 阿武幸美  
 （青藍会グループ副代表）



出典：産経新聞社



ご意見・ご要望は  
こちらまで



公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

TEL 03-5211-7700 FAX 03-5211-7705

Mail [js.jimukyoku@roushikyo.or.jp](mailto:js.jimukyoku@roushikyo.or.jp)

URL <https://www.roushikyo.or.jp>

Twitter, Facebook, Instagram, LINEでも情報発信中！





認知症の人のBPSD（行動・心理症状）は問題行動ではなく、とても大切なメッセージとして捉え、関わる職員が視点を揃えてPDCAサイクルでケアを実践することが求められています。

全国老施協では、その認知症ケアの実践に効果的な手法である「BPSDケアプログラム」を推奨し、その普及・啓発に取り組んでいます。そこで、実際にこの「BPSDケアプログラム」を取り組まれている事業所の皆さんの声をお届けさせていただきます。



老施協総研運営委員会  
委員長 尾関 英浩



## 認知症BPSDケアプログラムにおける取り組み実践事例⑦

### 「3つのポイント」

#### ● 第7回コラムでは

前回までのコラムは、「ケアプログラムを実施する上での4つのステップ」について1つずつ取り上げてまいりました。

今回のコラムでは、東京都にて先行的に実践されてきた施設におけるケアプログラム実施後の結果や、令和元年度老健事業における検証結果について、東京都医学総合研究所の結果及び効果を記載させていただきます。

(図表 2)

**BPSDケアプログラムによる行動心理症状の改善**  
(令和1年度厚生労働省老健事業)

	居宅介護支援	小規模多機能	認知症GH	老人福祉施設
1回目	18.7 (16.1)	25.2 (17.7)	28.8 (18.2)	32.9 (19.2)
3回目	11.5 (12.1)	16.7 (17.7)	17.7 (14.8)	19.3 (16.3)
変化量*	-7.40	-7.64	-10.45	-12.08
95%CI	-11.20,-3.59	-12.40,-2.89	-14.38,-6.52	-21.04,-3.12
効果量 $d_{min}$	0.55	0.44	0.61	0.61

特長では、行動心理症状の改善効果が特に大きい。NPIが12点改善（毎日あった重度・頻繁な症状がまったくなくなった）

\*マルチレベルモデルで利用者・従事者内要因を調整  
10.20小・0.50中・0.80大、心理社会的介入のメタ解析 (Brodaty et al., 2012) では効果量0.34  
サンプルサイズの計算は $\alpha=0.05$ , 効果量0.3, 3回測定として利用者132名(種類ごとに33名)。詳細は下記論文を参照

Nakanishi M et al., *J Alzheimers Dis Rep* (2020) <https://doi.org/10.3233/adr-200235>

#### ● 令和元年度の老健事業「認知症BPSDケアプログラムの広域普及に向けた検証事業」

また、東京都医学総合研究所は、令和元年度の老健事業「認知症BPSDケアプログラムの広域普及に向けた検証事業」において、BPSDケアプログラムによる行動・心理症状の改善について検証を行いました。その中で、特に「特別養護老人ホーム」において、行動・心理症状の改善効果が大きく見られることが結果としてあらわれております。(図表 2)

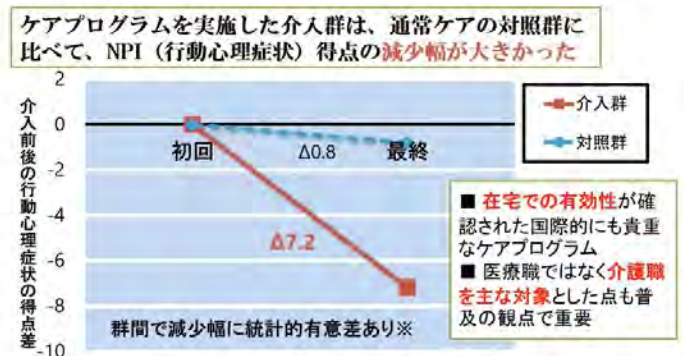
なお、BPSDケアプログラムは、症状の重い人ほど効果がやすいことがわかっているため、BPSDの重度の方にも十分に適応することがわかっています。

BPSDケアプログラムインストラクター 善福 章仁  
有限会社ロングレンジ・ビュー 統括マネージャー

(図表 1)

**Cluster RCT (n=283)：6か月後の行動心理症状**

足立区・世田谷区・武蔵野市：ケアマネ、訪問看護、グループホーム



※以下の影響を調整した最終モデルの効果量 4.0点 (95%信頼区間1.3-6.7)：利用者の年齢、性別、認知症の種類、ベースラインのADL・認知機能・行動心理症状、痛み、薬の処方、事業所の種類

Nakanishi & Nishida et al. *Int J Geriatr Psychiatry*, 2018

#### ● 先行実施施設における実施後の結果について

東京都では先行的にBPSDケアプログラムを実施しており、ケアマネジャーにも参加いただいております。その中で、施設のみならず、在宅でも効果があることが示されております。

(図表 1)

パーソンセンタードケア、ユマニチュードケアなど、多くの認知症に対するケアが導入されています。それらすべてに共通することは「その人を尊重する」ことではないでしょうか。私たちが行う日本版BPSDケアプログラム（以下、当プログラム）では、アドミニストレーターが中心となり、多職種の職員が共同し、対象となるの方が、私たちに對し何を訴えようとしているのかの原因を探るための話し合いが行われます。

ここで大切になってくるのが、対象となるご利用者様は当然ながら、「職員も尊重する」という事です。当プログラムでは、NPI評価を行う際の前提条件として[点数をつける際の判断に迷ったときはより重症度の高いほうに重きを置く]となっており、些細な「気づき」や「意見」であったとしても見過ごすことなく重要視していく事になっております。

八王子市役所から車で10分程度のところに、弊社が運営する「デイサービス翼」が御座います。男性の方はプライドも高く女性の方に比べると新しいグループの輪に入ることが難しいとされていますが、ここでは、利用者の8割～9割の方が男性。職員も若手からベテランまで幅広く在籍しておりますが、このBPSDケアプログラムを行うようになってから、目の前のケアをこなす事が最善であると思っていた職員が、ケア計画に基づいてのサービスの提供を行う事で改善していくご利用者様の変化に驚き、日頃からご利用者様の些細な状態を注視するようになり、話し合いの場でも積極的な発言が見られるようになりました。

組織というものは、命令や規則で長続きするものではなく、強制で動かしても絶対に上手くいくはずがありません。一人一人の個性や考え方、価値観を尊重し、勇気と希望をあたえ、喜びも苦しみもわかち合ってこそ、チームとして団結ができ成長していけるのです。

#### ★「認知症BPSDケアプログラム実践報告動画配信」について

BPSDケアプログラムについて理解を深めるとともに、今後の認知症ケアのさらなる向上を目的として、3月中旬を目途に、BPSDケアプログラムを取り組まれている施設・事業所の方より、取り組みの成果や効果等、実践事例についてご報告いただく動画を本会ホームページで配信いたします。詳細につきましては、別途お知らせいたします。

告知・依頼

告知	2/25	岡山県老施協	キャンドルリレー ～介護従事者の願いをつなぐ Candle night～
	2/18	全国老施協	全国老施協 新型コロナウイルス感染症 電話相談事業
	2/18	全国老施協	令和3年度 社会福祉法人会計基準実践的決算講習 開催要項
	2/18	全国老施協	令和3年度 管理者向け定着研修 開催要項
	12/24	全国老施協	老施協チャンネル 介護の魅力を15秒以内で伝えてみませんか ショート動画を募集中！
	11/19	全国老施協	令和3年度 全国老人福祉施設研究会議 鹿児島会議
	10/1	全国老施協	第78回全国老人福祉施設大会 山口大会 オンライン開催
	原則 毎週水曜	相談支援	法律相談窓口（JS リーガルサポート）原則として、毎週水曜日 （祝祭日を除く）の14：00-17：00（03-5215-7725）
依頼	3/4	（公社）国際厚生事業団	EPA看護師・介護福祉士候補者 受入れ機関募集



ご意見・ご要望は  
コチラまで



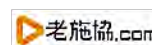
公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

TEL 03-5211-7700 FAX 03-5211-7705

Mail js.jimukyoku@roushikyo.or.jp

URL <https://www.roushikyo.or.jp>

Twitter, Facebook, Instagram, LINEでも情報発信中！



## キャンドルリレー ～介護従事者の願いをつなぐ Candle night～

コロナ禍で大きな制限が続く中でも実施可能なイベントとして、岡山県老施協では昨年度から「キャンドルナイト」を実施しています。

キャンドルなどは再利用が可能な事から、次の施設に引き継ぐ「キャンドルリレー」として企画しました。介護施設・介護従事者の願いは同じです。その願いをキャンドルに託して、つないで行く（リレーして行く）企画です。

実施した施設からは、「心が穏やかになった」「ひと時の休息になった」「とても幻想的だった」「感動して涙が出た」「明日への希望となった」などの声がたくさん寄せられており、地元のラジオ局や新聞等でも多く紹介されました。

今年度末で岡山県老施協としてはこの企画は一旦終了となりますが、最後の3月まで実施予定の施設があります。

この素敵な取り組みを、全国の皆様に知って頂ければ幸いです。

■□■YouTubeにて映像公開中■□■

◆ <https://www.youtube.com/watch?v=uAzksXeFxlq>

(特別養護老人ホーム ますみ荘)

◇ <https://www.youtube.com/watch?v=OpDLcpKswAU>

(社会福祉法人ことぶき会)

◆ <https://www.youtube.com/watch?v=TlvYsU3XAIU>

(特別養護老人ホーム サンバードナーシングホーム)

# キャンドルリレー

～ 介護従事者の願いをつなぐ Candle night ～



ますみ荘 (倉敷市)



倉敷シルバーセンター (倉敷市)



あじさいのおか牛窓 (瀬戸内市)



鶯園 (津山市)



シルバーセンターセレーノ総社 (総社市)



南光荘 (勝央町)



オペラハウス鴨方 (浅口市)



おもいやり (岡山市)



王慈園 (倉敷市)



きび庭瀬 (岡山市)



高寿園 (津山市)

動画配信中！YouTubeにて  
「ますみ荘」「岡山千鳥福祉  
会」「ことぶき会」「王慈福祉  
会」と検索  
して下さい。 

2020年8月に始まった介護従事者の「願い」のリレーは、11の施設で引き継がれました。

(2021年3月現在)



岡山県老人福祉施設協議会 21世紀委員会

# 全国老施協 新型コロナウイルス感染症 電話相談事業

- 施設等の感染症への対応方法や感染対策に関するお困りごとについて、感染症に高い専門性を有する看護師※に直接電話で相談ができます。  
(相談料は無料)
- 新型コロナウイルス感染症が発生した又はその疑い例が発生した施設・事業所が対象です。
- 月曜～金曜 10～12時、13～16時(5時間) ※土日祝日除く

## ②感染症が専門の看護師から直接電話します



(一次受付)



(まとめて依頼)



## ①電話相談の申込み(一次受付)

- 保健所に相談しても、なかなか指示がいただけない。
- 濃厚接触者が増えるにつれ、ゾーニングが困難になってきた。
- 何か気を付けることがあればアドバイスがほしい。 など

### 電話相談の一例

#### (相談内容)

洗濯室で120名分洗濯している状況ですが、現在感染者の衣類は3日ビニール袋で保管し3日を過ぎたものから順次洗濯するようにしています。手間がかかる事と、保管場所の確保が難しくなっているので何か良い方法はないですか。

#### (電話でのご回答)

- 感染者と非感染者の洗濯物を分ければ洗濯は可能。感染性のものが大量におかれている状況はリスクも高く、対応職員の手間も増えるため、3日間置かずに洗濯をしてもよい。感染者の衣類を扱うときにはPPEを必ず着用する。
- 日本感染症学会の家庭内感染対策資料を参考に、汚染物質はあらかじめ除去した後に、普通の洗剤で多めの水を利用して洗濯する。衣類の乾燥は80℃10分以上が可能な機器が施設にあったため、そちらの機器を利用してしっかり乾燥させる。

電話相談の申込み(一次受付)は全国老施協HPからお願いします

<https://bit.ly/3oJhsLk>

令和3年度



# 社会福祉法人会計基準実践的決算講習 開催要項

正しい会計データに基づく適正な運営を！

～〈改正社会福祉法及び省令・社会福祉法人会計基準対応〉と  
決算処理の一連の流れ～

## —開催趣旨—

本会では、社会福祉法人の行う介護保険事業の基礎的な会計知識と月次の会計処理を学んでいただくため、「社会福祉法人会計基準実践的基礎講習」を令和3年12月より配信しております。

今回の決算講習は、基礎講習で学んだ知識をもとに、当該事業年度の決算書を作成するための一連の手続きやポイントを学ぶほか、平成29年度より施行された改正社会福祉法に基づく決算承認手続とそのスケジュール、法人に求められる「事業運営の透明性の向上」（備置きと閲覧及び情報の公開等）、「財務規律の強化」（社会福祉充実計画の承認等）のポイントについて、会計基準省令、関連通知等から学び、併せて社会福祉充実残額算定の仕組みを知ることから、その意味と対策を考える基礎的理解を進めます。社会福祉法改正と同時に省令となった社会福祉法人会計基準による決算処理の正しい理解と運用にむけ、本講習会を開催いたします。

## 研修動画 Web 配信のお知らせ

本会研修委員会では昨今のコロナウイルス流行を鑑み、このたびの本研修の現地開催を中止し、インターネットによる動画配信形式にて研修を行うことといたしました。インターネット環境と動画を閲覧できる端末があれば、**期間内は何度でもご視聴いただける研修**となっておりますので、是非この機会に Web での受講をご検討ください。

1 **主 催** 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

2 **開催形式** 動画配信

- ・ お申込者の方には申込後3営業日以内を目処に、受講案内と請求に関するご連絡をお送りいたします。
- ・ 配信予定日以降、受講費のご入金が確認できた方から研修動画視聴のための URL をご連絡いたします。

3 **申込期間** 令和4年2月15日（火）～令和4年5月6日（金） 予定

4 **配信期間** 令和4年2月18日（金）～令和4年5月13日（金） 予定

5 **受講費** 会 員：8,000円 / 非会員：16,000円

6 **受講対象** 会計実務担当者、管理職員など  
※日商簿記三級程度以上の知識のある方、または社会福祉法人会計の経験がある方が望ましい。  
※税理士、公認会計士及びコンピューターシステム会社等の関係者の参加はご遠慮ください。

7 **申込方法** Web または FAX でのお申し込みが可能です。下記いずれかの方法でお申し込みください。

**Web 申込**

全国老施協ホームページの該当入力画面からお申し込みください。  
**(※全国老施協会員の方は、必ず会員ログインのうえご購入ください。)**  
申し込み締切日以降の変更・参加取消は、【10】問い合わせ先までご連絡ください。

**FAX 申込**

全国老施協ホームページより「参加申込書」をダウンロードし必要事項をご記入のうえ、FAXにてお申し込みください。変更・参加取消の際は「参加申込書」に上書き訂正の上、FAXにてご連絡ください。

※配信開始日以降の受講費のご返金は原則として対応いたしかねます。

※お申込後に取消のご連絡を頂いた場合、受講費のお振込は必要ありません。

## 8 プログラム

時間	内容
約 5 分	開会挨拶 公益社団法人全国老人福祉施設協議会
計約 6 時間	<p><b>I. 決算作業の流れと資産の確認・評価（約 90 分）</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 決算スケジュールの概要</li> <li>2. 資産の実在性確認と評価 (現金預金、有価証券、貯蔵品、事業未収金等、立替金・仮払金、前払金等、固定資産)</li> </ol> <p><b>II. 決算確認事項①（約 75 分）</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 負債科目の確認（未払金等、預り金等、借入金）</li> <li>2. リース会計</li> <li>3. 資金用途制限の確認</li> </ol> <p><b>III. 決算確認事項②（約 90 分）</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 減価償却費の計上と固定資産廃棄処理</li> <li>2. 国庫補助金等特別積立金</li> <li>3. 基本金の処理</li> <li>4. その他の積立金の考え方と会計処理</li> <li>5. 引当金（賞与引当金・徴収不能引当金・退職給付引当金）</li> <li>6. 決算確認事項まとめ（チェックポイント）</li> </ol> <p><b>IV. 計算書類・附属明細書の作成（約 90 分）</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 計算書類の体系</li> <li>2. 内部取引処理の注意点</li> <li>3. 計算書類の注記事項</li> <li>4. 附属明細書について</li> <li>5. 財産目録について</li> </ol> <p><b>V. 計算書類作成後の業務（約 75 分）</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 決算承認手続きの流れ</li> <li>2. 決算承認後のその他の手続き（資産変更登記・税務署への届け出）</li> <li>3. 社会福祉充実残額の算定</li> </ol> <p style="text-align: right;">株式会社川原経営総合センター 経営コンサルティング部門 統括補佐 森田 敏史 氏</p>

## 9 個人情報の保護について

お申込により知り得た個人情報（氏名、住所、連絡先等）については、個人情報保護法に基づき、研修運営業務（参加者の管理、参加者への連絡、請求書の送付等）以外には使用しません。

## 10 問い合わせ先

公益社団法人全国老人福祉施設協議会（担当：田中・中村・大和田）

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-1 塩崎ビル 7F

TEL：03-5211-7700 FAX：03-5211-7705

E-mail: js.kenshu@roushikyo.or.jp

URL：http://www.roushikyo.or.jp/ ※左記 URL より Web 申し込みが可能です。



**令和3年度 社会福祉法人会計基準実践的決算講習****受講申込書**

- ※ ご案内を確認の上、すべての項目にもれなくご記入又は○印をお付けください。  
 ※ 会員番号がご不明の際は、全国老施協事務局までお問い合わせください。  
 ※ お申込により知り得た個人情報（氏名、住所、連絡先等）については、個人情報保護法に基づき、研修運営業務（参加者の管理、参加者への連絡、請求書の送付等）以外には使用しません。  
 ※

都道府県	会員有無	○印をおつけください⇒ 会員 ・ 非会員							
	会員番号								
施設名									
施設所在地 (受講案内送付先)	〒 ー		※郵便番号・住所は正確にご記入ください						
TEL					FAX				
フリガナ			視聴用 URL 連絡先 e-mail アドレス						
担当者氏名	役職又は職種		※ メールアドレスの記入に誤りがあると、視聴用 URL のご案内が お手元に届かない可能性がございます。メールアドレスはブロック体で わかりやすくご記入ください。 ※ o(オー)と0(ゼロ)や - (ハイフン)と _ (アンダーライン)、 l (エル)と1 (イチ)等の区別が付くようご記入ください。						
受講費用	会員 8,000円 ・ 非会員 16,000円								
備考欄	※FAXにてお申込みの方は内容に変更・取消が発生した場合は、その旨こちらにご記入の上再度FAXにてお送りください。								

**【問合せ先】**

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 事務局（担当：田中・中村・大和田）

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-1 塩崎ビル 7階

TEL：03-5211-7700 FAX：03-5211-7705 E-mail: js.kenshu@roushikyo.or.jp

URL：http://www.roushikyo.or.jp/ ※左記 URL より Web 申し込みが可能です。

**お申込締切日：令和4年5月6日（金）**



# 令和3年度 管理者向け定着研修 開催要項

## —開催趣旨—

介護施設では60.8%もの施設が「介護サービス従業員の不足を感じる」とする調査結果(介護労働安定センター 令和2年度「介護労働実態調査」より)が出ています。採用した介護人材の早期離職を防ぐ取り組みを推進し、事業所の安定運営・経営に寄与できるよう、階層別職員研修として、管理者・施設長を対象とした研修を開催いたします。本研修では、株式会社リクルート HELPMANJAPAN グループと連携し実施します。

## 研修オンライン開催のお知らせ

昨今の新型コロナウイルス流行を鑑み、このたびの本研修の実地開催を中止し、インターネットによるオンライン研修(ライブ配信および終了後のオンデマンド動画配信)にて実施いたします。インターネット環境とZOOMを利用できるカメラ付きパソコン端末をご用意ください。是非この機会にオンラインでのご受講をご検討ください。

## 1 主催

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

## 2 開催形式

### オンライン研修

### ライブ配信(定員50名)およびオンデマンド動画配信

(オンライン会議システム ZOOM を使用し一部演習形式)

- ・オンライン会議システムを用いたライブ配信(定員50名)では演習による事例検討等を行い、受講者各々の現状に沿った研修内容となります。
- ・ライブ配信における申込は先着順となっており、定員に達した場合申込締切期日前に締め切ることがあります。
- ・ライブ配信を録画し、研修翌日より動画配信を行う予定です。
- ・オンデマンド動画配信は配信期間内であれば、いつでもどこでも受講可能です。(録画動画の視聴となるため演習には参加できません。)
- ・お申込者の方には申込後5営業日以内を目処に、受講案内と請求に関するご連絡をお送りいたします。
- ・受講費のご入金を確認できた方から研修参加URLをご連絡いたします。

## 3 申込期間

### オンライン研修(ライブ配信およびオンデマンド動画配信)

令和4年1月27日(木) ~ 令和4年2月27日(日)

### オンデマンド動画配信のみ

令和4年1月27日(木) ~ 令和4年3月17日(木)

## 4 開催日時

令和4年3月1日(火) 13:00~16:00

(事前申込みを完了した方が対象)

## 5 配信期間

令和4年3月3日(木)以降 ~ 令和4年3月31日(木)

(事前申込みを完了した方が対象)

## 6 受講費

### オンライン研修(ライブ配信およびオンデマンド動画配信)

会 員 : 10,000円 / 非 会 員 : 15,000円

### オンデマンド動画配信のみ

会 員 : 5,000円 / 非 会 員 : 10,000円

## 7 受講対象

管理者・施設長

## 8 申込方法

Webでのお申し込みをお願いします。下記 URL からお申し込みください。全国老施協会会員の方は、必ず会員ログインのうえご購入下さい。

### Web 申込

全国老施協ホームページ (<https://www.roushikyo.or.jp/>) の該当入力画面からお申し込みください。2/22(火)以降の参加取り消しにつきましてはキャンセル料として受講費の全額を申し受けます。

※開催日以降の受講費のご返金は原則として対応いたしかねます。

※開催日1週間前までに申込み取消のご連絡を頂いた場合、受講費のお振込は必要ありません。

## 9 プログラム

介護人材の職場定着を進めるための人材の育成、従業員満足度を高めるための事例紹介、階層別のマネジメントポイント等の情報提供を行う講義型研修です。

時間	内容
13:00~16:00 ※途中休憩あり	開会挨拶 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会
	講演 講師 株式会社リクルート HELPMANJAPAN
	人材の確保・定着状況と職員間の人間関係構築の重要性
	従業員満足度を高めるための「4つの観点」と事例紹介
	職員のタイプ（特性）を知り、関わり方を考える
	面談アプローチ手法について
	各階層別の定着・マネジメントポイント
	演習（定着促進の取り組みについて）
	まとめ・アンケート

### 注意事項

- オンラインで開催しますので、以下の機器等をご用意ください。
  - ・パソコン及びウェブ用カメラ(オンライン会議システム ZOOM を使用できること)  
※タブレットやスマートフォンはご利用いただくことができません。
  - ・イヤホンマイク
  - ・インターネット通信環境
  - ・お部屋(グループワークを行うための環境が整えられること)
- お申込み者数が定員を超えた場合は、先着順とします。

## 10 個人情報の保護について

お申込みにより知り得た個人情報(氏名、住所、連絡先等)については、個人情報保護法に基づき、研修運営業務(参加者の管理、参加者への連絡、請求書の発送等)以外には使用しません。

## 11 問い合わせ先

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 (担当: 吉沢・藤本・田中)

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-1 塩崎ビル 7F

TEL : 03-5211-7700 FAX : 03-5211-7705

E-mail: [js.jinzai@roushikyo.or.jp](mailto:js.jinzai@roushikyo.or.jp)

URL : <https://www.roushikyo.or.jp/> ※左記 URL より Web 申し込みが可能です。



# 介護の魅力を15秒以内で 伝えてみませんか

ショート動画を募集中!

1

お手持ちのスマホで  
15秒以内の動画を縦構図で撮影

スマホから  
簡単に応募  
できます

2

QRコード先の応募フォームより  
必要事項を入力の上、ショート  
動画を投稿



※介護現場の日常や、職員・利用者の皆さまの特技  
など介護の魅力を15秒以内で伝えていくものであ  
ればどんな内容でもOK!

※応募された動画は、審査を行った上で全国老施協  
が運営を行う、高齢者福祉・介護の感動や魅力を  
伝えるための映像配信を行っている公式YouTube  
チャンネル（老施協チャンネル）に掲載される予  
定です。

～応募キャンペーン実施中～

抽選で100名様に、QUOカード300円分が当たります

募集  
期間

2022.3/31

木 まで

たくさんの  
ご応募お待ち  
しています!



注意事項

●応募作品の著作権は公益社団法人全国老人福祉施設協議会に帰属し、本会が運営を行うYoutubeチャンネルにて、PRなどの介護サービスおよび介護従事者のイメージアップ、社会的評価向上のための広報活動事業に使用させていただきます。あらかじめご了承ください。●応募作品は返却いたしません。必要の方はコピーをおとりください。●応募作品・抜写体のあらゆる権利（特に肖像権）に関して、主催者は一切の責任を負いかねます。応募に関しては、必ず被写体・写真の著作権および著作権者の了承を得てください。●応募に関する個人情報、個人情報保護法に則った管理の上、応募作品の評価、当選者への連絡、応募者名簿の管理、動画サイトへの掲載、広報活動へのご協力を依頼する目的以外には使用いたしません。●応募作品に使用する映像・音楽は、著作権処理が必要ないものを使用するか、必要な処理手続きが済んだものを使用してください。●応募作品は、動画投稿サイトへの掲載（第三者提供）を予定しておりますので、応募に際しては、第三者提供について被写体の了承を得てください。●応募作品に関して第三者の権利の侵害が認められた場合、応募者本人がその責任を負うこととし、公益社団法人全国老人福祉施設協議会は一切対応いたしません。

公益社団法人全国老人福祉施設協議会

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-7-1

塩崎ビル7階

TEL:03-5211-7700 FAX:03-5211-7705

Mail js.jimukyoku@roushikyoku.or.jp

JS 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

令和3年度

全国老人福祉施設  
研究会議

# 鹿児島 会議

写真協力：公益社団法人 鹿児島県観光連盟

写真協力：公益社団法人 鹿児島県観光連盟

## 介護新時代への船出

～現場革新と科学的介護の実現～

開催期日

令和4年 1月13日(木)～3月31日(木) (オンデマンド配信期間を含む)

開催地

鹿児島県鹿児島市 (川商ホール (鹿児島市民文化ホール) 他)

主催

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会  
一般社団法人 鹿児島県老人福祉施設協議会

後援

厚生労働省、鹿児島県、鹿児島市  
社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会

参加対象

- ① 全国老協会員施設・事業所の役員及び職員等
- ② 老人福祉・介護事業に関わる行政、社会福祉協議会の役員及び職員
- ③ その他本会が認めた者

参加費

会 員：6,000円(税込)  
非会員：12,000円(税込)

写真協力：公益社団法人 鹿児島県観光連盟

# 介護新時代への 船出



～現場革新と科学的介護の実現～

## 趣旨

現在、日本における少子・高齢化の進展や人口減少は、過疎化による地方の衰退をもたらすほか、現行の年金制度や医療・介護制度の方向をも左右する大きな社会問題となっています。

さらに、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、全世界にパンデミックを起こしています。日本でも感染者数の増加と減少を繰り返し、未だに収束の兆しが見えていないのが現状です。

そのような中、2021年の介護報酬改定は、新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で、「感染症や災害への対応力強化」「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止の取組の推進」、「介護人材の確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続可能性の確保」を5つの柱としそれぞれの方向性を示し、前回の改定率を上回る0.7%のプラス改定となりました。

また、サービスを出来るだけ科学的に評価するための情報システムの活用として「LIFE(科学的介護情報システム)」の運用も開始されました。これは、より質の高いサービス提供を推進するために、介護そのものの概念を「ICTを活用した人と人との関わり」に客体化させていく、言わばいかに私たちが「科学的介護」への取組みを進めるかが問われています。

さらに、私たちは介護・福祉分野の人材不足等の現状を踏まえながら、今後の介護サービス需要の伸びに対応しつつ、科学的介護を基に効果的、効率的で持続可能性の高い、よりドラスティックな介護提供体制の構築を目指し、邁進しなければなりません。

こうした多種多様な課題への解決策を見出すべく、実践事例や研究成果を全国の仲間と共有し、共に学ぶことが、これから迎える新時代をより良いものに変えていく重要なきっかけとなります。

先人の成功者の言葉に学ぶとすれば、「新しい発想を得ようと思うなら、まず誰かに話を聞け」と本田宗一郎氏。また、イチロー氏は、「メジャーリーガーの凄いところは、一度『あ、すごい選手だ』と認めたら、2500本もヒットを打っている選手でも聞きに来ます。それが偉大な点ですね」と言っています。これらの教えを見習い、私たちは互いの努力や成果を持ち寄って、次の時代へと繋がる新しい知識を共有していくことが大切です。

令和3年度全国老人福祉施設研究会議(鹿児島会議)は、私たち一人ひとりが高齢者福祉の担い手として志を一つとし「共に学び、共に新時代を切り拓くべく」開催するものです。

# 1/13

木 18日

※感染症の流行状況によっては無観客での開催等、開催方法が変更となる場合がございます。

## 全体会プログラム

(ライブビューイング同時開催)  
※後日オンデマンド配信

11:30 12:30 13:00 13:30 13:50 14:10 14:20 15:30 17:00 17:10

受付	オープニング アトラクション	開会式典	基調報告	中央情勢 報告	休憩	記念講演 (1)	記念講演 (2)	次期開催県 挨拶
----	-------------------	------	------	------------	----	-------------	-------------	-------------

全体会場

川商ホール(鹿児島市民文化ホール)

〒890-0062 鹿児島県鹿児島市与次郎二丁目3番1号

- 11:00 開場
- 11:30 受付開始
- 12:30~12:50 オープニングアトラクション **「TEAM KAGOSHIMA」**
- 12:50~12:57 **「介護士さん音頭」** 歌手 さつま たけと氏
- 13:00~13:30 開会式典
- 13:30~13:50 基調報告 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 会長 平石 朗
- 13:50~14:10 中央情勢報告 参議院議員 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 常任理事 そのだ 修光
- 14:10~14:20 休憩
- 14:20~15:30 記念講演 **「断捨離「引き算の解決法」~住まいと心のガラクタさようなら~」**

一般財団法人「断捨離®」代表 **やました ひでこ氏**

断捨離提唱者  
ミリオンセラー作家  
一般財団法人「断捨離®」代表

学生時代に出逢ったヨガの行法哲学「断行・捨行・離行」に着想を得た「断捨離」を日常の「片づけ」に落とし込み応用提唱。誰もが実践可能な「自己探訪メソッド」を構築。断捨離は人生を有機的に機能させる「行動哲学」と位置づけ、空間を新陳代謝させながら新たな思考と行動を促すその提案は、年齢、性別、職業を問わず圧倒的な支持を得ている。『断捨離』をはじめとするシリーズ書籍は、国内外累計600万部ミリオンセラー。アジア各国、ヨーロッパ各国において20言語以上に翻訳されている。



※「断捨離」はやましたひでこ個人の登録商標であり、無断商業利用はできません。

- 15:30~17:00 記念講演 **「介護に携わる君たちへ、君たちに望むこと」** 事前収録

医療法人真正会・社会福祉法人真正会 理事長 **齊藤 正身氏**

略歴  
昭和31年生まれ  
1983年 帝京大学医学部卒業  
1985年 埼玉医科大学附属病院入局(放射線科および第3内科研修)  
1988年 医療法人真正会 霞ヶ関中央病院入職  
1990年 医療法人真正会 霞ヶ関南病院 病院長就任(2010年まで)  
2000年 社会福祉法人真寿会(2019年 社会福祉法人真正会に名称変更)理事長就任(現職)  
2002年 医療法人真正会 理事長就任(現職)



主な社会活動  
日本リハビリテーション病院・施設協会 会長  
全国デイ・ケア協会 名誉会長  
厚生労働省社会保障審議会介護保険部会 臨時委員(歴任)など

主な著書  
『医療・介護に携わる君たちへ』(幻冬舎)など

- 17:00 次期開催県挨拶

# KAGOSHIMA2021

分科会	テーマ
第1	<p><b>伴走型介護の追究 —(コロナ禍)その人らしい人生を支える科学的ケアの実践—</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 認知症ケア</li> <li>▶ 自立支援介護(ADL・QOL向上)</li> <li>▶ 常食化への取り組み</li> <li>▶ 医療・介護の連携</li> <li>▶ 記録の活用とアウトカム評価</li> <li>▶ 看取り介護</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 医行為(咳痰吸引、経管栄養等)</li> <li>▶ 機能訓練(リハビリテーション)</li> <li>▶ 口腔ケア</li> <li>▶ 個別ケアの実践</li> <li>▶ 非常時における介護の挑戦(感染症・災害等)</li> </ul>
第2	<p><b>2040年に向けた特別養護老人ホームの進化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 社会福祉法人戦略(経営・運営)</li> <li>▶ 地域における公益的な取り組みの実践</li> <li>▶ 財務分析による経営の合理化・適正化</li> <li>▶ 既存の社会資源との連携や広報戦略</li> <li>▶ 効果的な人員配置の工夫や ICT による業務効率化と経営改善</li> <li>▶ 地域共生社会の実現に向けた取り組み</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地域資源の利活用(校舎跡地活用事業など)</li> <li>▶ 医療・介護の連携による協同組合の活用による経営の効率化</li> <li>▶ 地域医療介護総合確保基金を活用した事業展開</li> <li>▶ 小規模法人のネットワーク化事業による経営効率化</li> <li>▶ 社会福祉法人の利用者負担軽減の取り組み</li> <li>▶ 災害対策、コロナ対策</li> </ul>
第3	<p><b>2040年を見据えた人材採用・育成・定着戦略とコロナ禍での対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ コロナ禍での介護人材採用戦略</li> <li>▶ コロナ禍での介護人材育成と定着</li> <li>▶ コロナ収束後を見据えた人材確保</li> <li>▶ 潜在介護福祉士の復職支援</li> <li>▶ 働き方改革とアクティブシニア</li> <li>▶ コロナ禍における外国人介護人材の4種の受け入れ制度の課題と対応</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 外国人介護人材定着への課題と対応</li> <li>▶ 従事者の働きやすい環境づくり</li> <li>▶ モチベーションにつながるキャリアパスの形成</li> <li>▶ 人事考課・ロボット導入による業務効率化</li> <li>▶ 外国人材の活用</li> </ul>
第4	<p><b>地域包括ケア・地域共生社会を支える在宅サービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ICT・LIFE 導入への取り組み</li> <li>▶ コロナ禍におけるサービスの展開</li> <li>▶ 過疎地域におけるデイの生き残り戦略</li> <li>▶ 健康寿命延伸に向けた重度化予防・改善に向けた取り組み</li> <li>▶ 地域支援事業による地域貢献や認知症予防</li> <li>▶ 在宅での効果的なサービスの展開</li> <li>▶ 多職種協働による機能訓練の充実</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地域での栄養ケアの実態とフレイル予防</li> <li>▶ 認知症ケアや医療依存度の高い方へのケア</li> <li>▶ 自立支援・ADL 改善やICFに基づくケア</li> <li>▶ 共生型サービス・保険外サービスの展開</li> <li>▶ 「通いの場」、「生きがい」づくりと社会参加への取り組み</li> <li>▶ 地域包括支援センター・居宅介護支援事業所の展開</li> </ul>
第5	<p><b>新しい入居者像を見つめた軽費・ケアハウスの展開</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 変わる利用者像と新しいサービスの実践</li> <li>▶ ICT 化への導入と新たな取組</li> <li>▶ 特定施設入居者生活介護の経営と LIFE の活用</li> <li>▶ 入居者の健康寿命の延伸・フレイル予防</li> <li>▶ 「通いの場」、「生きがい」づくりと社会参加への取り組み</li> <li>▶ 食べる楽しみと栄養改善に向けた取り組み</li> <li>▶ 認知症ケア</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 被虐待高齢者など緊急時の受け入れ</li> <li>▶ 重度者への対応や医療との連携</li> <li>▶ 入居者の確保に関する取り組みや広報戦略</li> <li>▶ 入居者による支え合い(エンパワメント)や地域へのアウトリーチ</li> <li>▶ 地域支援事業による地域貢献や認知症予防</li> <li>▶ 生活困窮者自立支援法等に関する取り組み</li> </ul>
第6	<p><b>“福祉”を届けるべき人々への包括的な支援と持続可能な養護老人ホームの経営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 新型コロナウイルス感染症への対応</li> <li>▶ 特定施設入居者生活介護における LIFE の活用</li> <li>▶ ICT 活用の取り組み</li> <li>▶ 契約入所の取り組み</li> <li>▶ 高齢者の住まい確保に関する取り組み</li> <li>▶ BCP(自然災害・感染症)の策定と具体的な取り組み</li> <li>▶ 入居者の健康寿命の延伸・フレイル予防</li> <li>▶ 通いの場・生きがいづくりや地域移行・中間的就労の取り組み</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 食べる楽しみと栄養改善に向けた取り組み</li> <li>▶ 認知症ケア、高齢障害・精神障害・慢性疾患(難病を含む)の方への対応</li> <li>▶ 介護サービスや一般型特定施設の経営</li> <li>▶ 老朽化・大規模修繕等の取り組み</li> <li>▶ 入居者による支え合い(エンパワメント)、地域へのアウトリーチ</li> <li>▶ 生活保護や生活困窮者自立支援法等に関する取り組み</li> <li>▶ 地域定着支援センターや矯正施設等との連携</li> </ul>
先駆的特別報告	<p>※老施協総研調査研究助成事業対象者による先駆的特別報告</p>



## 2

## 分科会プログラム(完全オンデマンド配信)

## ○ 実践研究発表(1発表15分)

## ○ 研究者による先駆的特別報告(1報告30分)

※ 老施協総研調査研究助成事業により実施した研究事業を報告します。

報告 1	ICTシステムを用いた多職種による遠隔モニタリングがもたらす食支援業務の質向上および効率化に関する実証研究 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 口腔保健支援学分野 教授 尾崎 和美 氏
報告 2	医師とつながる機能を有する多職種連携医療介護情報共有システムの導入による業務改善と負担軽減の検証 社会福祉法人 山彦会 理事長 櫻井 博規 氏
報告 3	伴走型介護の概念に基づいたQOL向上のための生活プログラム自動生成・実施結果データベース化システムの実用化と実証実験 東海大学 情報理工学部 コンピュータ応用工学科 教授 浅川 毅 氏
報告 4	見守りセンサーとコミュニケーションロボットの連携検証 ー見守り・コミュニケーションのバックアップロボットー 社会福祉法人 青森社会福祉振興団 理事長 中山 辰巳 氏
報告 5	主任層のリーダーシップ行動が介護職の就労継続意識に及ぼす影響 ー従来型・ユニット型施設別のリーダー養成システムの構築に向けてー 西南学院大学 人間科学部 准教授 田中 康雄 氏
報告 6	介護職員が行う標準化された口腔ケアの入院予防効果および医療費削減効果の検証 ー口腔ケアの科学的介護への確立に向けてー 株式会社クロスデンタル CEO クロスケアデンタルクリニック 院長 瀧内 博也 氏
報告 7	高齢者施設における「赤外線見守りシステム+介護コミュニケーションロボット+生体センサー」導入が夜間介護業務改善に及ぼす効果の検討 社会福祉法人東京聖新会 フローラ田無 施設長 尾林 和子 氏
報告 8	眠りSCANの活用による業務改善とユニットケアの確立 ー適切なアセスメントからその人らしさを支えるチームアプローチの確立をー 社会福祉法人 緑風会 介護老人福祉施設ふるさと那賀 施設長 井馬 美智代 氏
報告 9	介護ロボット(AIによる言語解析)開発による介護記録記載の負担軽減への取り組み ー更なる音声認識率の向上を目指してー 社会福祉法人 野の花会 アルテンハイム加世田 法人本部 楠元 寛之 氏
報告 10	外国人介護職員の安定的・継続的な就労に向けた調査研究 東京福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 講師 熊谷 大輔 氏
報告 11	認知症の人の意思決定支援にかかわる人々の支援の現状と課題 東都大学 幕張ヒューマンケア学部 看護学科 講師 内野 良子 氏
報告 12	新型コロナウイルス禍における特別養護老人ホームの経営のあり方と経営指標の開発に関する調査研究 早稲田大学 人間科学学術院 准教授 松原 由美 氏
報告 13	特別養護老人ホームにおける感染対策に関する調査研究および感染対策の手引きの開発 ー新型コロナウイルス感染、インフルエンザ感染、ノロウイルス感染に焦点をあててー 日本赤十字豊田看護大学 看護学部看護学科 在宅看護学 講師 松田 優子 氏
報告 14	中小社会福祉法人が介護職の新卒採用において成果を上げるために有効な対策とは 社会福祉法人 昴 統括事務長 松本 清一 氏

## ○ 特別報告(1報告30分)

※各分科会(分散会)のテーマごとに、有識者等による特別報告を行います。

# 実践研究発表の発表者募集

参加・発表申込 web サイトからお申込ください

全国老人福祉施設協議会では、令和3年度全国老人福祉施設研究会議（鹿児島会議）の実践研究発表を募集致します。日ごろ皆さんの施設で取り組まれているケアを客観視して、数値化・言語化し、理論・根拠に基づいたケアとしてご発表下さい。

※今年度の実践研究発表はすべて Web 上にて実施いたします。

## 実践研究発表 応募の流れ

1

Web サイトでの  
新規ユーザー登録

2

研究会議への  
参加申込

3

実践研究  
発表申込

締切11月19日(金)まで(参

※申込締切以降の発表申込並びに抄録原稿

### ◆抄録原稿の提出について

- ① 発表内容が法律違反といった事がないよう、事前に発表者の責任で確認を行ってください。また、現在規制されているが、利用者のために必要といった内容については、規制緩和・制度提案の形で積極的にご発表ください。
- ② 利用者の氏名・写真等を掲載する場合、個人情報保護法の観点から、必ずご本人またはご家族の承諾を得てください。
- ③ 抄録原稿の提出は、参加・発表申込 web サイト上へのアップロードをお願いいたします。  
<http://www.arrow-tourist.jp/>  
(参加・発表申込ウェブサイト)  
・本システムでは①新規ユーザー登録（メールアドレスやパスワード等の情報登録）②研究会議参加申込③実践研究発表申込④抄録原稿ファイルアップロード⑤発表動画データファイル&発表データファイルアップロードの手順で行っていただけます。  
・ログインに必要なメールアドレスとパスワードは、大切に保管してください。
- ④ 研究会議終了後、全ての発表者の抄録原稿を全国老施協ホームページで公開します。

### 1 抄録原稿の書き方

※以下、書き方の注意事項を必ず守ってください

- ① 様式：全国老施協ホームページまたは、参加・発表申込 web サイト上から「抄録原稿テンプレート(様式)」をダウンロードできます。<https://www.roushikyo.or.jp/> (全国老施協ホームページ)
- ② 抄録原稿は 1 発表（演題）1 ページです。図や表を使用する場合も 1 ページ内に収めてください。
- ③ 抄録原稿は手書きではなく、必ずパソコンを用いてください。
- ④ 用紙は、A4 サイズ、白黒印字、文字の大きさは9ポイント、2 段組（左右の 2 段）とし一行を全角 22 文字とします。行数は 1 段最大 34 行（1 段最大 748 字、2 段で約 1,496 文字）で校正してください。
- ⑤ 書体・字の大きさ、余白など、様式のページ設定を変更せずに、記載例にしたがって作成してください。
- ⑥ 取組みと最も関係あるキーワードを 3 つ、重要度順に必ず記載してください。
- ⑦ 本文は原則として<取組み課題><具体的な取組み><活動の成果と評価><今後の課題><参考資料など>で構成し、章の区切りにこれらの表題をセンタリング（中央揃え）で入れてください。
- ⑧ 箇条書きにできるところは、なるべく箇条書きでご記入ください。
- ⑨ 抄録原稿が期限までに提出されない場合、動画データのアップロードが完了しても発表の対象とはなりませんので、必ず期限までにご提出ください。

## ◆分科会での実践研究発表の発表者を次のとおり募集いたします

- ①応募資格：本研究会議の参加者であること **【発表者（共同研究者も含む）は必ず本研究会議へお申込ください】**
- ②発表件数：同一施設から複数のお申込みも歓迎いたします。  
なお、同一発表者の発表は一題に限らせていただきます。
- ③発表認定状：発表者全員（1発表につき1枚）に、全国老人福祉施設協議会より発表認定状を贈呈します。
- ④分科会発表評価：各分科会審査員により、特に優秀な発表を選出・表彰いたします。  
審査基準は、①企画力（取組みに対して研究方法が妥当であるか）、②発表力（発表自体に魅力的な工夫が凝らされ、質疑があった際に適切に対応できたか）、③応用力（発表内容が参加者にとって有益であり、幅広い施設・事業所においても同様の効果が得られるか）の観点から審査いたします。
- ⑤費用：参加費・資料作成費・郵送費等、各自のご負担となります。
- ⑥発表申込方法：本会ホームページ (<https://www.roushikyo.or.jp/>) から参加・発表申込 web サイトに移動し、申込を行ってください。※ FAX 申込不可
- ⑦発表数：**各分科会での発表題数に限りがあり、募集数が上限に達した場合は、申込みの先着順といたします。申込み状況については、全国老協ホームページ等にてお知らせいたします。また、申込状況・発表内容により、主催者の判断で分科会を変更いただく可能性がございます。**

4

抄録原稿ファイル  
アップロード

5

発表動画データファイル&  
発表データファイルアップロード

加・発表申込 web サイト)

・動画データの差し替えは受け付けません

### 2 発表データの作成について

- ① 抄録原稿とは別に、発表データを作成してください。
- ② データは **microsoft powerpoint 2007 以降のバージョン**とします。  
また、Mac 等で作成したデータは対応できません。
- ③ **最初と最後のスライドについては、指定の形式で作成してください。**（一部推薦演題は除く）  
（※指定の形式については、全国老協ホームページ (<https://www.roushikyo.or.jp/>) または、参加・発表申込 web サイト上の「実践研究発表動画作成マニュアル」からご確認ください）
- ④ スライド枚数に制限はございませんが、発表時間を踏まえ **15枚程度**が適当となります。（スライド1枚1分）
- ⑤ 研究発表は、介護従事者としての専門性を高めるためのものです。説明は客観的なデータを用いてください。
- ⑥ 発表用データは要覧には掲載致しません。文字やグラフは大きく、内容は簡潔で読みやすいものを推奨します。
- ⑦ 発表する研究や取組みが、調査研究中または継続中で、完了していなくてもかまいません。
- ⑧ 研究会議終了後、特に優秀な発表者の発表用データについては全国老協ホームページで公開します。

### 3 発表動画データの作成について

- ① 作成した発表データにもとづき、**Powerpointの記録機能を使用して**動画データを作成してください。
- ② PCのマイクあるいは外部マイクを使用して録音します。また、カメラの使用については発表者の任意となります。
- ③ 動画時間は **15分程度**で作成してください。なお、動画の編集は自由に行うことが可能ですが、編集のクオリティについては**審査の対象となりません**のでご了承ください。
- ④ 動画は「**フルHD (1080p) 完全高画質 (1920×1080)**」、また「**MPEG-4ビデオ (mp4)**」で保存してください。

※動画データ作成の詳細については、全国老協ホームページまたは参加・発表申込 web サイト上から「実践研究発表動画作成マニュアル」をご確認ください。<https://www.roushikyo.or.jp/>（全国老協ホームページ）

KAGOSHIMA2021

# 会場マップ

## 全体会会場「川商ホール（鹿児島市民文化ホール）」

〒890-0062 鹿児島県鹿児島市与次郎二丁目3番1号 TEL: 099-257-8111

出発地	所要時間
鹿児島空港から 鹿児島中央駅	鹿児島空港 ..... 鹿児島中央駅 (連絡バス/約38分)
鹿児島中央駅から 全体会会場	鹿児島中央駅 ..... 市民文化ホール前 ..... 川商ホール (鹿児島市営バス/約20分) (徒歩/約3分) (鹿児島市民文化ホール)



### 鹿児島市 (市外局番099)

地区	番号	会場名・ホテル名	電話番号
与次郎之浜地区	①	鹿児島サンロイヤルホテル	253-2020
	②	アートホテル鹿児島	257-2411
天文館地区	③	ホテルニューニシノ	224-3232
	④	ホテル・レクストン鹿児島	222-0505

地区	番号	会場名・ホテル名	電話番号
鹿児島中央駅地区	⑤	JR九州ホテル鹿児島	213-8000
	⑥	ホテルアービック鹿児島	214-3588
	⑦	シルクイン鹿児島	258-1221
城山地区	⑧	城山ホテル鹿児島	224-2211
会場	★	川商ホール(鹿児島市民文化ホール)	257-8111



第78回

全国老人福祉施設大会

山回大会

オンライン開催

非営利の取組

テーマ

介護新時代への船出

～現場革新と科学的介護の実現～



乳 [伊まふ草号]

柳井金魚  
ちよつらん祭り

東海御前田

Yamaguchi  
ON LINE 2021

JS 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会  
老務部 (Japanese Council of Senior Citizens Welfare Service)

〒102-00113 東京都千代田区平河町2丁目7番1号 麹町ビル7階

TEL : 03-525-7800 FAX : 03-525-7805

E-mail : js.jimukyoku@roushikyoku.or.jp

ホームページアドレス <https://www.roushikyoku.or.jp>

主催

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会  
山口県老人福祉施設協議会

後援

厚生労働省、山口県、山口市  
社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
社会福祉法人 山口県社会福祉協議会  
社会福祉法人 山口市社会福祉協議会

参加対象

- ① 全国老健協会員施設・事業所の役員及び職員等
- ② 老人福祉・介護事業に関わる行政、社会福祉協議会の役員及び職員
- ③ その他本会が認めた者

参加費

参加者1名あたり 12,000円 (税込)  
[会員:6,000円 (税込)]

配信期間

令和3年

令和4年

11/25(木)～3/31(木)

開催地

山口県山口市

(山口県産業交流拠点施設 多目的ホール 他)

視聴方法

全国老健協ホームページ上に、全国大会特設ページを設置予定です。  
視聴ID・パスワードを入力の上、ご視聴頂けます。

# 介護新時代への船出

～現場革新と科学的介護の実現～

## 趣旨

現在、日本における少子高齢化の進展や人口減少は、過疎化による地方の衰退をもたらすほか、現行の年金制度や医療・介護制度の方向をも左右する大きな社会問題となっています。

さらに、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、全世界にパンデミックを起こしています。日本でも感染者数の増加と減少を繰り返し、未だに収束の兆しが見えていないのが現状です。

そのような中、2021年の介護報酬改定は、新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で、「感染症や災害への対応力強化」を図るとともに、団塊の世代の全てが75歳以上となる2025年に向け、高齢者人口がピークとなる2040年も見据えながら、「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止の取組の推進」、「介護人材の確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続可能性の確保」を5つの柱として、それぞれの方向性を示し、前回の改定率を上回る0.7%のプラス改定となりました。

私たちはこれまで、エビデンスを基盤とした「科学的介護」の実現に向け取り組んできたこともあり、今回の改定は介護保険の目的である尊厳ある自立支援と介護サービスの質の向上に資する項目が多く含まれました。中でも、サービスをできるだけ科学的に評価するための情報システムの活用として「LIFE(科学的介護情報システム)」の運用も開始されました。これは、より質の高いサービス提供を推進するために、介護そのものの概念を「ICTを活用した人と人との関わり」に客体化させていく、言わばいかに私たちが「科学的介護」への取り組みを進めるかが問われています。

さらに、私たちは介護・福祉分野の人材不足等の現状を踏まえながら、今後の介護サービス需要の伸びに対応しつつ、科学的介護を基に効果的、効率的で持続可能性の高い、よりドラスティックな介護提供体制の構築を目指し、邁進することが求められています。

第78回全国老人福祉施設大会(山口大会)は、今一度「介護・福祉」の多様な課題を見つめ、私たちの未来を力強く拓く意志を発信する場として開催するものです。

## 全体会

35分 開会式典

30分 行政報告

30分 基調報告

90分 記念講演

厚生労働省

公益社団法人全国老人福祉施設協議会 会長 平石 朗

有限会社ヒロカネプロダクション 代表取締役  
漫画家

### 弘兼 憲史氏

1947年、山口県生まれ。早稲田大学法学部を卒業後、松下電器産業(現パナソニック)に入社。のちに漫画家として独立し、1974年「風薫る」でデビュー。

横断的な海客が特徴で、「人間、社会」についての縦交差点」で小学館漫画賞(1984年)、「課長高耕作」で講談社漫画賞(1991年)、「黄昏流星群」で文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞(2000年)、このほか日本漫画家協会賞大賞(2003年)や紫綬褒章受章(2007年)を受賞。漫画以外の著作も多数。



30分

シンポジウム「新時代の介護」

公益社団法人全国老人福祉施設協議会 ロボット・ICT推進委員会

5分

永年勤続表彰 表彰者メッセージ

5分

大会宣言

10分

次期開催県挨拶

# 分科会

## 第1分科会

### 科学的介護の深化

～LIFE)と「認知症BPSDケアプログラム」の取り組み～

#### 趣旨

後期高齢者や認知症高齢者の増加、福祉・介護の担い手不足、財政的制約の高まりなどをはじめとした、私たちを取り巻く社会環境の変化に伴い、質的・量的な介護ニーズも日々変化しています。その変化に的確に対応するには、介護業界の連携はもとより、行政、医療、学術研究機関、地域住民等のあらゆる関係者との協力が重要であり、現場革新と科学的介護の発展を促した、より高品質な介護サービスの創造が期待されています。

本分科会では、そのような介護新時代へのスタートアップとして、今まで蓄積してきた様々なエビデンスをこれからの介護に効果的に活かす、介護の質を高めたいという観念と「科学的介護推進システム(LIFE)」と「認知症BPSDケアプログラム」等の取り組みから、介護の新たな価値について、その可能性を考察していきます。同様な取り組みとなる2025年が目前に迫る中、更に先の2035年の社会に向けたビジョンと、その実現の一環として、自分らしく生きられる社会の実現を目指し、今から取り組みを促すことを明確にし、介護新時代への輸出を促す場として本分科会を開催いたします。

#### 企画

- 40分 情報報告 全国老協協老老協総研運営委員会 委員長 尾関 英浩
- 40分 講演 I LIFEの概要について 厚生労働省 老健局 老人保健課
- 50分 講演 II CHASE～LIFE 一輪車グリーンホーム介護現場・多職種連携の取り組み事例～ 社会福祉法人鈴鹿福祉会 鈴鹿グリーンホーム 施設長 服部 昭博 氏
- 50分 講演 III コロナ禍における認知症の人や家族への支援について 国立法大広島大学 石井 伸弥 氏
- 40分 講演 IV 認知症BPSDケアプログラムについて(仮) 東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター センター長 西田 淳志 氏
- 70分 シンポジウム 認知症BPSDケアプログラム実施設の事例紹介(仮) シンポジウム 東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター センター長 西田 淳志 氏

## 第2分科会

### 2040年に向けての特別養護老人ホームの在り方

#### 趣旨

少子高齢化・生産年齢人口の減少が深刻化する中、私たちはターニングポイントとなる2035年から5年連続をもって、高齢者がピークとなる2040年を見据え、あらゆる社会システムにおいて人口減少を克服し、高齢者に適した改革が迫られています。

高齢者福祉・介護において「次世代へ継ぐ(未来型介護)」を創出するためには、科学的介護を推進し、生産性の向上やICT活用、医師との連携などを認識した改革をしなければなりません。

改革には、大きなエネルギーとマネジメント能力が必要です。前後と共々2040年を見据え介護現場を構築して参りたいと思えます。本分科会を通して「未来型介護」を持って「国民の負担」にどう対応していくか、様々な角度から将来の未来像について一緒に考えてみましょう。

#### 企画

- 30分 情報報告 特別養護老人ホームの現状と果たすべき役割 全国老協協老老協等経営委員会特別養護老人ホーム部会 部長 石踊 紳一郎
  - 60分 講演 I 収支状況等調査をフル活用した経営戦略～経営困難期の勝ち残り戦略とは～ 全国老協協老老協等経営委員会委員長/社会保険審議会介護給付費分科会委員 柳田 和乎
  - 50分 講演 II LIFE関連加算の解説 ①科学的介護推進体制加算・栄養マネジメント強化加算 ②個別機能訓練加算・ADL維持等加算 ③自立支援促進加算・口腔衛生管理加算
  - 60分 講演 III 人口動態から考える今後の特養経営について(仮) 全国老協協副会長/社会保険審議会介護給付費分科会委員 小泉 立志
  - 60分 講演 IV 医療事業の経営者から見た今後の特養・社会福祉法人経営について 産業医科大学医学部公衆衛生学教室 教授 松田 晋哉 氏
  - 30分 講演 V 介護報酬が非課税である根拠と特養経営者の責務 一般社団法人日本慢性期医療協会 会長 武久 洋三 氏
- ～利用者負担軽減制度の完全実施に向けて～  
全国老協協老老協等経営委員会特別養護老人ホーム部会 幹事 山田 淳子

## 第3分科会

### これからの介護を見据えた人材戦略

#### 趣旨

介護業界においては、現在、介護人材の確保・定着・育成の有効策を講じていることが不可欠とされています。コロナ禍により、新しい生活様式が求められており、コロナ禍に対応した職場環境の整備が求められています。求職者に選ばれる、安心のできる業界への転換が急務課題となっています。具体的には、

①コロナ禍における介護施設の人材採用 ②コロナ禍での介護人材(外国人介護人材)育成と定着 ③科学的介護の進展に伴い、求められる人材像の変化への対応 ④ロボット・ICT等の活用による職員の負担軽減 ⑤報酬設定による人員配置に対応した人材の確保 ⑥海外介護福祉士の積極的な活躍 ⑦外国人介護人材や元高齢者からの受け入れによる業務分担と効率化の推進

等により、介護業界の信頼性と競争性を高めることが重要です。

国の政策を含めた上記2つの具体的な手法を念頭に、介護人材の確保・定着・育成に資するこれからの介護を見据えた人材戦略について、研鑽を促す場を提供したいと考えております。

#### 企画

- 90分 行政報告 厚生労働省 社会・健康局 福祉基礎課長・福祉人材確保対策官(社会・健康局福祉基礎課福祉人材確保対策室長兼任) 宇野 植男 氏
  - 60分 講演 I 特別養護老人ホームにおける人材確保の現状と今後について(仮) 社団法人福祉医療機構 経営サポートセンター リサーチグループ グループリーダー 松本 庄平 氏
  - 60分 講演 II 外国人介護人材定着の課題と対応(仮) 社会福祉法人晋栄福祉会 理事長 濱田 和則 氏
  - 120分 シンポジウム これからの介護を見据えた人材戦略(仮) シンポジウム 社団法人福祉医療機構 経営サポートセンター リサーチグループ グループリーダー 松本 庄平 氏
- ケアサポート株式会社 総務人事務部 人材育成課 課長 福留 孝一 氏  
淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科 教授 藤野 達也 氏  
全国老協協老老協等経営委員会 委員長 木田 二郎

## 第4分科会

### 地元の地域包括ケアとデイサービスの未来を考える

#### 趣旨

2025年に向けて高齢者福祉・介護ととるべき道は、地域包括ケアの構築と地域共生社会の実現という2つのビジョンによって明確に打ち出されています。また、今回の制度改正・報酬改定でも「自立支援・重症化防止の推進」と「科学的介護の推進」により明確に示されています。これからのデイサービスは、事業所が所在する地域の価値に合わせ、現場でそれらを実現し、どう活用していくかが問われ、まさに「選ばれたデイサービス」としての競争が激しくなっています。

介護に対するニーズも時代とともに新たなフェーズに入った今、「人材」「地域」「科学的」を融合させ、地元からなくなっていくと言われ続けるためのデイサービスの未来について研鑽を図ります。

#### 企画

- 30分 情報報告 全国老協協老老協等経営委員会特別養護老人ホーム部会 部長 波淵 幸敏
- 60分 講演 I デイサービスにおける加算算定状況と算定のポイント 全国老協協老老協等経営委員会特別養護老人ホーム部会 幹事 小川 弥仁
- 60分 講演 II 地域包括ケア時代求められるデイサービスのあり方～デイサービス事業者が描くべきビジョンと「経営戦略」 株式会社ケアモンスター 代表取締役 田中 大信 氏
- 30分 講演 III 小規模自治体・過疎地・僻地などのデイサービスを拓く法人・施設の経営戦略 社会福祉法人 阿武福祉会 介護福祉士 福田 大介 氏
- 60分 講演 IV デイサービスにおける生産性向上と科学的介護の推進～働きがいのある現場を目指すことがLIFEの本質的活用を促進する～ 株式会社TRAPE 代表取締役 齋田 大智 氏
- 60分 講演 V 通いの場戦略の限界とその先～総合事業/整備事業のこれから 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 共生・社会政策部長 主席研究員 岩名 礼介 氏

## 第5分科会

### 新しい入居者像を見つめた軽費・ケアハウスの展開

**趣旨** 令和3年度の介護報酬改定では「地域型ケアシステムの推進」をはじめとした柱が打ち出され、軽費老人ホーム、ケアハウスにおいても、運営改正によりそれらへの対応が求められます。また、今後、さらなる少子高齢化が進む中で、軽費老人ホーム、ケアハウスの入居者の質は確実に変化していきます。従来の入居者像だけでなく、高齢者のニーズだけでなく、医療との連携がより一層求められていくことが想定されます。  
本分科会では、そうした新しい入居者像を見つめ、地域共生社会における軽費老人ホーム、ケアハウスの役割やありか、どのような対応や対策が求められているのか、軽費老人ホーム、ケアハウスの明るい未来と展望について、事例を語ります。

#### 企画

30分 情報報告

全国老施設軽費老人ホーム・ケアハウス部会 部会長 藤井 陽子

60分 講演 I

地域共生社会における養護老人ホーム・軽費老人ホーム・ケアハウスのあり方  
～令和2年度老健事業の調査研究事業を中心に～ ※第6分科会と共同プログラム  
淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科 教授 結城 康博 氏

60分 講演 II (対談)

地域共生社会の実現に向けた軽費老人ホーム・ケアハウスの現状と課題を踏まえつつ～  
～各施設種別における現状と課題を踏まえつつ～  
昭和女子大学 人間社会学部 福祉社会学科 教授/全国老健事業部会 委員 中川 勝喜 氏  
全国老施設軽費老人ホーム・ケアハウス部会 部会長 藤井 陽子 氏

30分 講演 III (対談)

軽費老人ホームA型とケアハウスの実態～ケアハウスへの転換事例から～  
社会福祉法人緑水会 ケアハウス協会の泉 施設長 小佐野 進 氏  
全国老施設軽費老人ホーム・ケアハウス部会 部会長 藤井 陽子 氏

60分 講演 IV

ケアハウスで工夫している取り組みと入居者の変化  
～1年間で生活できる住まい(相談窓口の実践)～  
フリーライター(元シニア住まい塾相談員) 栗原 道子 氏

60分 講演 V (事例発表)

ケアハウスにおける看取りと医療連携の最新情報～先進的取組と今後の展望～  
社会福祉法人昭徳会 ケアハウス高英安立 看護課 高井 里美 氏  
社会福祉法人台台コープス会 ケアハウス大宮 副施設長 大野 文 氏

## 第6分科会

### “福祉”を届けるべき人々への包括的支援と持続可能な養護老人ホームの経営

**趣旨** 養護老人ホームは、住環境や経済的な課題をはじめとした複雑な課題を抱える高齢者の生活を支援し続けている一方、地方分権による措置費の一部削減や介護保険制度により、入所対象者、措置額、養護老人ホームの三者において制度的な適応に困難を生じるケースも見受けられます。その中で、契約入所や地域共生事業など、養護老人ホームを取り巻く状況も変わりつつあります。  
こうした現状において、地域住民や入所対象者、措置額から今以上に必要とされる養護老人ホームを指向しつつ、定員割れや収容バランスの悪化の中で養護老人ホームをどう構築していくのか、現制度における現場の課題解決に向けた全国的な行動を模索すべく、研鑽を深めるものです。

#### 企画

45分 情報報告

全国老施設養護老人ホーム部会 副会長 利光 弘文

60分 講演 I

地域共生社会における養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウスのあり方  
～令和2年度老健事業の調査研究事業を中心に～ ※第5分科会と共同プログラム  
淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科 教授 結城 康博 氏

60分 講演 II

養護老人ホームの役割と事業継続の道標  
～軽費高齢者受け入れの契機を踏まえて～  
西九州大学 健康福祉学部 社会福祉学科 准教授 江口 賢子 氏

45分 講演 III

「ストップ措置控え」のためのアクションへ向けて…  
～措置費調査調整3か年経過レポートより～  
全国老施設養護老人ホーム部会 幹事 平岡 敬 氏

30分 講演 IV

契約入所の現状と今後の展望～契約入所のQ&A～  
全国老施設養護老人ホーム部会 副部会長 林 武 氏

60分 講演 V (対談)

「どうなるだろう」からの養護老人ホーム」  
～現状の打開と未来(あしひ)への対応～  
福祉経営学部 福祉経営学科 教授 清水 正美 氏  
全国老施設養護老人ホーム部会 部会長 利光 弘文 氏  
全国老施設養護老人ホーム部会 幹事 平岡 敬 氏

## お申込み方法



### STEP 1

チラシに掲載のURL / 検索 / QR コードから、全国老人福祉施設協議会ホームページのTOPページへアクセス

### STEP 2

TOPページの「募集・申込」をクリックして、「全国大会・研究会議開催要項等」を選択、さらに、「全国老人福祉施設大会の開催情報(令和3年度)」をクリックしてください。



QRコードからもアクセスできます

※なお、TOPページ上部のイメージ画像部分に大会ページにダイレクトにアクセスできるリンクもご用意しております。

### STEP 3

「全国老人福祉施設大会の開催情報(令和3年度)」ページの「第78回全国老人福祉施設大会(山口大会)」をクリックし、大会特設ページ(9月下旬開設予定)へアクセス



### STEP 4

大会特設ページの参加申込ページよりお申し込みください。(申込受付期間2021年10月1日10時～2022年3月24日)

### STEP 5

お申込み手続きを完了いただきましたら、申込受付メール、参加費のご請求書の原本をお送りいたします。

### STEP 6

指定の期日までにお振込みを完了いただきましたら、動画視聴用のID/PWをメールにてお送りさせていただきます。また領収証を受付システムにて発行いたします。

申込に関するお問い合わせはコチラ

TEL 03-3516-7813 株式会社サンケイ会館・山口大会運営事務局 高野・小此木・近野 roushikyo-yamaguchitaikai@sankeibldg.co.jp



## 法律相談窓口（J Sリーガルサポート）の開設日のお知らせ

公益社団法人全国老人福祉施設協議会では、会員便益向上の観点から、弁護士による法律相談窓口（J Sリーガルサポート）を設置しております。相談窓口の開設日時や具体的な運用については以下のとおりですので、ご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

### （J Sリーガルサポートの利用）

- ・ J Sリーガルサポートを利用される場合には、原則として、毎週水曜日（祝祭日を除く）の14：00-17：00に以下の電話番号にお問い合わせください。

J Sリーガルサポートの電話番号：

0 3 - 5 2 1 5 - 7 7 2 5

### （3月の開設日時）

- ・ 下記日程での開設となります。（※一部、日程が原則と異なります）

令和4年3月	2日(水) 14：00～17：00 ， 7日(月) 14：00～17：00
	16日(水) 14：00～17：00 ， 23日(水) 14：00～17：00
	30日(水) 14：00～17：00

※ 担当弁護士は、宮澤潤法律事務所 長野 佑紀氏

### （留意事項）

- ・ J Sリーガルサポートの開設日時については変更となる場合があります。その場合は、JSweekly等により事前に周知いたします。
- ・ 相談内容については、例えば、介護事故に伴う損害賠償等の内容が考えられます。会員と直接関係が認められない相談内容はお受付いたしません。また、介護報酬の解釈・基準等に関する問い合わせについては、J SリーガルサポートではなくJSWEB110をご活用ください（下記参照）。

全国老施協 HP ⇒ マイページ ⇒ JSWEB110

- ・ J Sリーガルサポートの対象として無料法律相談が可能になるのは、1つの案件につき初回の法律相談に限られ、同一案件に関する2回目以降の法律相談についてはJ Sリーガルサポートの対象には含まれません。したがって、2回目以降の法律相談等を希望される場合には、各会員と弁護士との間での別途個別契約により御対応ください。
- ・ 同様に、同一拠点に複数の施設・事業所（以下、「施設等」という。）を有する法人に関しては、当該拠点内の1施設等が既に初回の法律相談を利用されている場合には、同一案件については、他の施設等は会員番号が異なる場合であってもJ Sリーガルサポートを利用できませんので、法律相談等を希望される場合には、各会員と弁護士との間での別途個別契約により御対応ください。

# EPA 看護師・介護福祉士候補者 受入れ機関募集

国際厚生事業団では、EPA（経済連携協定）に基づき 2023 年度に来日する  
インドネシア人、フィリピン人、ベトナム人看護師・介護福祉士候補者の受入れ機関を募集します。  
EPA 候補者は、受入れ機関で就労・研修を経て看護師・介護福祉士国家資格の取得に臨み、  
引き続き日本国内で看護師・介護福祉士として就労することを目指します。

## 募集期間

2022年

4月6日(水) ▶

5月11日(水)



## 説明会

3月23日(水)  
13時より

オンライン動画配信により実施

※詳細は、当事業団 WEB サイト  
(<https://jicwels.or.jp/>) にて  
ご案内いたします。

(参考) 昨年度のオンライン説明会 ●▶



## EPA 候補者受入れのメリット

- 約 1 年の訪日前・後日本語研修後に入職
- 日本語学習及び国家試験対策に対する支援
- 豊富な経験に基づくサポート
- 明るく丁寧な姿勢が患者・利用者から高評価
- 現場のチームワークやモチベーションの向上
- 国際交流の促進
- 政府間での受入れなので安心